一番大切にしている価値観

私は人生において「責任感を持ち、物事に能動的に取り組むこと」を一番大切にしている。このような価値観は、大学時代、国際学生交流サークルで留学生のメンバーと一緒に文化祭を開催し、参加満足度を大幅に向上させた経験から培われた。その際に、参加者の満足度が低く、取り消される危機に陥った祭りを復活させるために、参加満足度が低い原因を分析した。そして、交流の機会を増やし、例年の祭りと差別化を図るために、沢山の人が同時に参加できるサークルダンスを取り入れること、各展示台でカフェエリアを増設することの2点を考え、実施した。その結果、参加満足度が大幅に向上し、来年度も継続的に実施することになった。以上の経験から、これからの仕事においても、1つ1つの仕事に責任感を持ち、最善のパフォーマンスを発揮していきたい。

学生時代、学業以外に力を入れたことを教えてください

学生時代、子どもへの学習支援のボランティア活動に尽力し、英語コーナーの参加者を0人から12人まで増やした経験だ。しかし、チーム3人で英語コーナーの企画を進める際に、英語が苦手で参加したくない、興味がないという子どもが多かった。それを解決するために、英語コーナーの活動内容の新提案について討論し、実施した。英語コーナーでは、低学年子どものレベルを考慮したうえで、英語のゲームを考案し、楽しく学習できる環境を作ることを意識した。また、多国籍の子どもを受け入れることで、多様性のあるペアで勉強できるようにした。その結果として、12人の子どもに参加してもらい、両親やほかの団体メンバーからも好評を頂いた。この経験から、チームワークの中で協調し知恵を結集させることがチーム成果の最大化に貢献すると学んだ。

これまでの人生の中で、最大のチャレンジについて教えてください。またそこから何を学びましたか。

私の人生の中で最大のチャレンジは、学生に対して英語を使用した日本語授業を実施し、短期間で試験に合格させた経験だ。漢字圏ではない学生向けに英語を使用し、日本語の授業を担当した際に、学生のバックグランドと勉強目標がそれぞれ異なるため、教科書の内容を調整する必要性がある、英語で分かりやすい文法を説明することが困難であるという2つの課題が生じた。そのため、学生のニーズや学習状況に合わせ、講義の内容の順番を変えたり、学生の出身国と日本の文化の違いを交えながら授業をしたりした。また、英語圏出身の友人にフィードバックをもらい、文言の改善を行った。その結果、担当学生は3ヶ月で試験に合格でき、学習目標も達成できた。この経験から、目の前の人が抱えている課題と真摯に向き合うことが課題解決に繋がると学んだ。